

題材名・単元名	学部	授業名（主たる教科領域）	授業者
桃太郎遊び	小	学級活動 2年1組 (生活)	
<p><ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達と関わって活動することに気持ちを向けたり、一緒に楽しんだりする。 ・教師からのふれあいや追いかけ遊びを楽しみ、好きな遊びを広げる。 ・桃太郎遊びに興味を持ち、期待感や見通しを持ちながら取り組む。 			
学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物	
1 あいさつ	・指文字を出したりあいさつを言ったり等する。	<ul style="list-style-type: none"> ・手指消毒を行う。（活動中も適宜行う）※消毒スプレー ・授業の始まりを意識させる。 	
2 紙芝居 「ももたろう」	・授業用に改良した紙芝居を見聞かせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の座った位置から見えているか確認しながら始める。授業に関わる場面はどんなことをするのか分かるように読む。※紙芝居 	
3 桃太郎遊び ① 仲間を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・桃太郎役を決め、きび団子を持つ。 ・前に出て、歌を歌いながら一周回る。 ・犬・猿・雉役は、桃太郎からきび団子をもらい、後ろにつながって歩く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ください」「どうぞ」のやり取りに気持ちが向くように、声かけや補助を行う。※きび団子(布の丸玉) 	
② 橋を渡ろう	・川に落ちないように友達と手をつないで橋（凸凹平均台）を渡る。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と手をつなぎながら渡ることが分かるように提示する。補助が必要な児童には教師が入る。※凸凹平均台、ブルーシート 	
③ 山に登ろう	・キャスターボードに乗って棒を持ち、友達に引っ張ってもらったり、ロープを持って友達を引っ張ったりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達同士交代し合い、助け合いながら遊べるように補助する。山登りの雰囲気が出るように掛け声を行う。※キャスターボード、棒付きロープ 	
④ 船で海を渡ろう	・教師や友達と向かい合わせになって座り、手や棒を持って相手と交互に引っ張り合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく友達同士で行えるようにし、補助が必要な児童に対しても相手を意識できるように行う。※セフティーマット、スティック棒 	
⑤ 鬼を退治しよう（鬼と仲良くなろう）	<ul style="list-style-type: none"> ・鬼（教師）に追いかけられ、くすぐられる。 ・鬼（教師）をくすぐってやっつけ、仲良くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勢いよく衝立から出てスピードを調整しながら児童を追いかけ、くすぐる。危険なものは撤去する。（サブT）※衝立、鬼の面 	
4 おわりのあいさつ	・指文字を出したりあいさつを言ったり	<ul style="list-style-type: none"> ・少し休憩し、気持ちを落ち着かせ 	

等する。

手から挨拶する。

<内容（工夫点など）>

- 児童の活動に合った紙芝居を作り、活動のたびに提示しやすいようにした。
- 児童同士がお互いに関われるように、つながったり手をつないだりできる活動を取り入れた。
- 劇遊びにこだわらず、役割は桃太郎のみにし、友達同士意識し合える遊びになるようにした。
- 鬼と仲良くなる設定で、くすぐり遊びを入れ、最後は楽しい気持ちで終われるようにした。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- 一人遊びや自分の世界に入りがちな児童が友達を意識し、関わって遊べた。自分から「やりたい！」が多くなり、期待しながら授業に向かえるようになった。
- 追いかけて遊びが楽しくなり、「もう一回」の催促が何度もあった。
- 授業以外での教師や友達との関わりが深まり、手つなぎができる場面が増えた。